

エコアクション21 (EA21) 要求事項の解説

ガイドライン: <http://www.ea21.jp/>

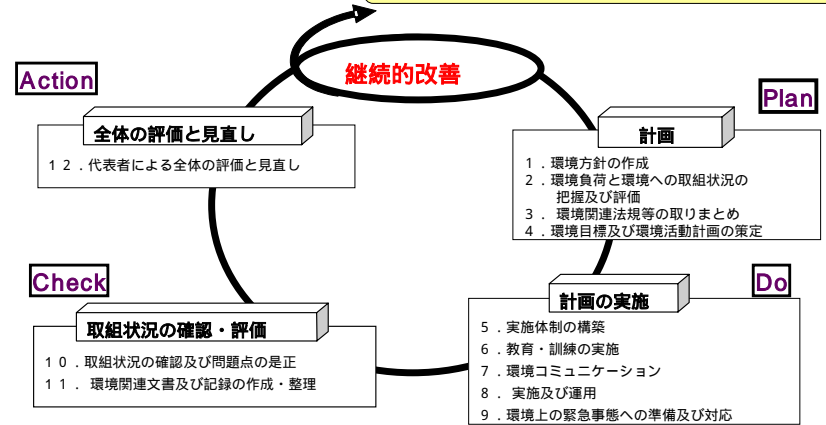


エコアクション21地域事務局大阪
(<http://www.ea21-osaka.org/>)
普及委員長 宇田吉明

EA21環境経営システムの構成

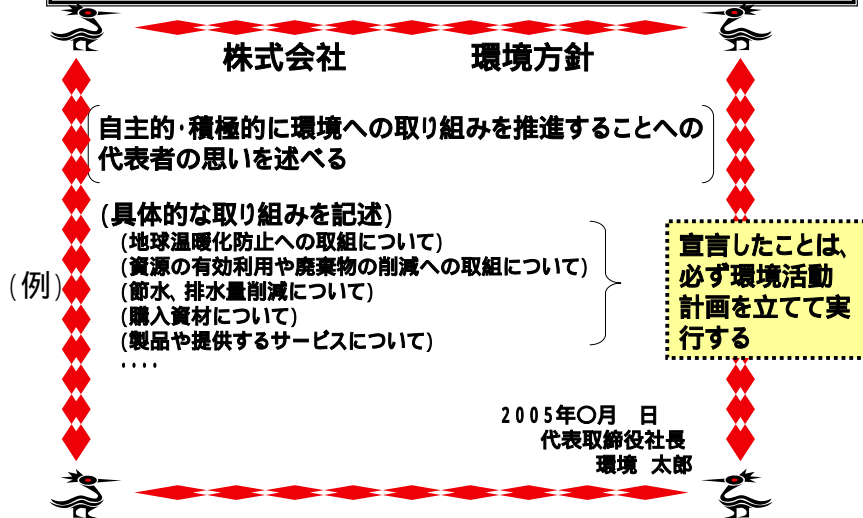
EA21に取組み、認証・登録を受ける事業者は、本ガイドラインの要求事項に適合した環境経営システムを構築し、運用することが求められている。

環境経営システム = PDCAサークル



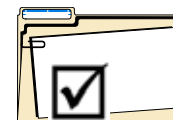
1. 環境方針の作成

代表者(経営者)は環境経営に関する方針(環境方針)を定め、誓約する。
環境方針は、環境への取組の基本的方向を明示し、全ての従業員に周知する。



2. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価

事業活動に伴う環境負荷を把握するため「環境への負荷の自己チェック」を実施し、その結果を踏まえ、**経営上取組の対象とすべき環境負荷を特定する。**
二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量(水使用量)は必ず把握する。
環境への取組状況を把握、評価するため「環境への取組の自己チェック」を実施する。



まずは、自社(組織)の環境との関わりを調べて、取組みが必要な項目を特定する。

2.環境への負荷の自己チェック

環境への負荷の自己チェックシート(抜粋イメージ)

	単位	合計(年)			排出係数 (B)
		消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B×C)	割合	
購入電力	kWh	70,000	26,460	48	0.378 (kg-CO ₂ /kWh)
灯油	L		0		0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)
重油	L		0		0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)
都市ガス	Nm ³	500	1,054	2	0.0513 (kg-CO ₂ /MJ)
液化天然ガス(LNG)	kg		0		0.0494 (kg-CO ₂ /MJ)
液化石油ガス(LPG)	kg		0		0.0598 (kg-CO ₂ /MJ)
ガソリン	L	3,000	6,965	13	0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)
軽油	L	8,000	20,995		0.0687 (kg-CO ₂ /MJ)
			0		

該当する項目に消費量を入力(エクセルで自動計算)

2. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

2006年度は自動計算されず

項目	単位	2004年			2005年			2006年		
		消費量	排出量	割合	消費量	排出量	割合	消費量	排出量	割合
① 総エネルギー投入	購入電力(工場)	MJ						228,378		
	購入電力(事務所)	MJ						46,272		
	化石燃料	MJ						278,027		
	化石燃料	MJ						0		
	化石燃料	MJ						0		
	化石燃料	MJ						0		
② 総物質投入	水	t						1,500		
	廃棄物	t						0		
③ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素(合計)	kg-CO ₂						22,860		
	電力(工場)	kg-CO ₂						8,187		
	電力(事務所)	kg-CO ₂						1,777		
	灯油	kg-CO ₂						359		
	重油	kg-CO ₂						0		
	都市ガス	kg-CO ₂						2,699		
	液化天然ガス(LNG)	kg-CO ₂						0		
	液化石油ガス(LPG)	kg-CO ₂						0		
	ガソリン	kg-CO ₂						8,340		
	軽油	kg-CO ₂						5,964		
	工場用エネルギー	kg-CO ₂						0		
	廃棄物処理	kg-CO ₂						4,956		
	その他	kg-CO ₂						0		
	④ 化学物質排出量(移動量)	有害物質排出量	t						0	
有害物質排出量		t						0		
⑤ 廃棄物排出量	廃棄物排出量	t						0		
	廃棄物排出量	t						0		

ISO著しい環境側面の特定に該当

環境パフォーマンス指標である9つの指標について、負荷を把握する
(二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、排水量(水使用量)が必須項目)

2.環境への取組の自己チェック

選んだ項目に関する取組をチェック表を使ってチェックする

- 項目ごとに必要と思われる取組を掲載
- 実施している取組具合に応じてチェック

環境への取組の自己チェック(抜粋イメージ)

関連有無	1) 日常業務の管理に当たっての配慮	取組状況 A(3,2,1)	取組状況 B(2,1,0)	評価点 (A×B)	取組項目
	空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底している	3	0	0	
	空調を必要な区域・時間に限定して行っている	2	0	0	
	空調・冷却設備の保守点検をこまめに行っている	2	1	2	
	エレベーターの適正使用を徹底している	1	1	1	
	照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を積極的に行っている	3	2	6	

どのように取り組めばよいかの情報が満載(ISOにはない優れたところ 分からなければ審査人が助言してくれる)

3. 環境関連法規等の取りまとめ

事業活動に当たって遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を整理し、取りまとめる。

環境法規制等一覧表 / 遵守(順守)の評価記録(イメージ)

名称	該当項目	要求事項	担当	順守評価	
				証拠	評価
廃棄物処理法	廃油 廃プラ	契約 マニフェスト管理 ...	総務	伝票	

4.環境目標及び環境活動計の策定

環境方針、環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果を踏まえて、具体的な環境目標及び環境活動計画を策定する。

環境目標は、可能な限り数値化する。

5W1Hで計画

環境目標:いつまでに、何を、どの程度行うか

環境活動計画:いつまでに、誰が、何を、どの程度、どのように行うか

環境方針で明示した環境への取組の基本的方向と整合させる

環境目標は中長期の目標も策定する



4.環境目標及び環境活動計画書

～ オフィスの事例 ～

目 標	具体的手段	スケジュール			責任者	達成状況	
		4月	5月	6月			
電力の削減 2004年比 3% (26,000kWh)	<空調の省エネ> ・空調温度の適正管理 暖房20 以下 冷房28 以上 ・クールビズの定着 ・空調機更新(トップランナー製品に) ・フィルター定期清掃 <照明の省エネ> ・照明のこまめな消灯 ・不要照明の玉抜き <待機電力の省エネ> ・TV、VTRの主電源オフ ・PCの節電モード設定	← 外気による換気 →			総務部	6月 スタート時目標未達なるも消灯運動定着で挽回	
				フィルター清掃		9月	
			クールビズ呼びかけ				12月
		消灯キャンペーン					3月(総括)
		待機電力対策					
		計 画	月	1800		1900	
累計			2700	4700			
実 績	月	1900	1900	1900			
評価	累計		2800	4700			
	評価	x					

4.環境目標及び環境活動計画

～ 廃プラスチック排出量削減の事例～

目 標	具体的手段	スケジュール			責任者	達成状況		
		4月	5月	6月				
廃プラスチック排出量の削減 2005年比 10% ベンチマーク (2005年) 1,200kg	製品の歩留向上 ・加工機改善 ・検査方法の改善 不良品の再資源化	← 加工機改善 →			製造課	6月 加工機改善完了(来期予算化) 検査方法改善案に基づき試行実施、データ収集中 再資源化テストするも再確認が必要		
				検査方法改善		9月		
				再資源化テスト			12月	
		計 画	月	100		98	97	3月(総括)
		累計				198	295	
		実 績	月	105		98	91	
累計			203	294				
	評価	x						

環境活動計画による改善活動(例)

	項目	具体的な取り組み
省エネ	電力削減	節電(照明、エアコン温度) 高効率の機器採用(インバーター化) 圧縮空気の漏れ防止 建物の断熱施工
	自動車燃料	アイドリングストップ、空ぶかし防止、エコカーに更新
	ガス	太陽熱温水機・ヒートポンプ式給湯機の導入
省資源・廃棄物削減	節水	節水(擬音装置、節水コマ、自動水栓、再利用)
	資材	軽量化、コンパクト化
	包材	通い箱化、簡易化
	歩留向上	加工ミス防止
	コピー用紙	裏紙利用、電子化(ペーパーレス)
	購入時の配慮	グリーン購入(エコマーク商品購入)
	廃棄物削減	再使用、再生利用(リサイクル)

省資源・廃棄物削減活動

持ち込まない



最終製品として使わないものは
持ち込まない
原料:生産過程でごみとなるもの
包材:生産過程でごみとなるもの

発生させない



ロス = 資源・エネルギーの無駄
使いとの観点からロスを発生させない

持ち出さない



発生した廃棄物を徹底的に
再使用・再利用し、廃棄物として
持ち出さない

認証取得事業者の電力の二酸化炭素削減実績

業種	従業員数	二酸化炭素量 kg-CO2	削減額 万円
薬品製造	159	51,528	273
公共施設	26	10,040	52
樹脂加工	24	3,873	21
商工会議所	14	3,587	19
リフォーム	3	228	1.2

1kWh = 0.378 kg-CO2 1kWh = 20円 53円 / kg-CO2として計算

部品製造業での目標(例)

- 作業ミスによる廃棄物の削減
- 機械稼働率の向上による電力の削減
- 毎週末にエア洩れ点検の実施・修理
- 3S(整理・整頓・清掃)の推進
- 納入品包材を出荷部品の梱包材に再使用

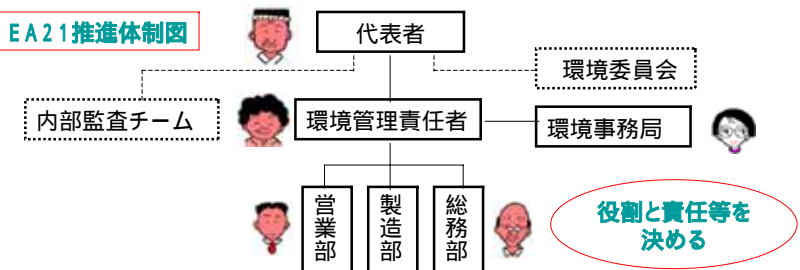
などが考えられます。
無理のないように、有効なものから取り組みばよい。

5. 実施体制の構築

EA21環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。

実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全員に周知する。

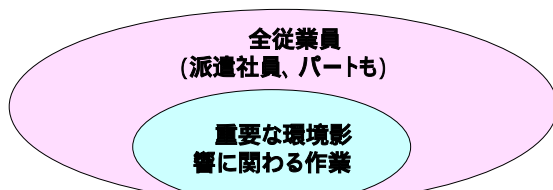
EA21推進体制図



	役割、権限、責任一覧表
社長	環境方針の策定、見直し、環境目標の承認 全体の評価と見直し
環境管理責任者	環境の関する責任を持つ
従業員	ここが重要(全員で取り組めるように)

6. 教育・訓練の実施

エコアクション21 の取組を適切に実行するため、必要な教育・訓練を実施する。



	自覚教育	適切な訓練
全ての従業員		
重要な環境影響に関わる作業		

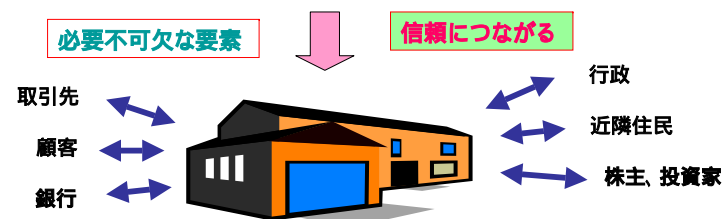
教育訓練計画表で適切に実施する



- ・環境方針を理解する
- ・自らの役割、取組を認識する
- ・環境問題や環境経営の意味を知る

7. 環境コミュニケーション

環境活動レポートを作成し、公表する。
外部からの環境に関する苦情や要望を受け、必要な対応を行う。



環境に関する苦情や要望を受け付ける窓口(担当者)を設け、これに誠実に対応する

環境コミュニケーションの結果等を記録する

環境活動レポートを事務所に備え付けて公表する。

環境活動レポートは中央事務局のホームページで公表される

8. 実施及び運用

環境方針、環境目標及び環境活動計画を達成するために必要な取組を実施する。



「環境活動計画(書)」に基づいて実施
必要に応じて手順書を作成
必要に応じて取引先にもお願いする



3Rの推進



冷暖房の適正化



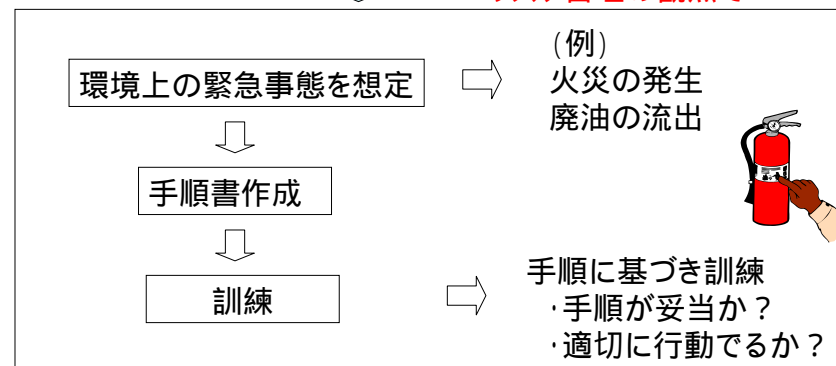
アイドリングストップ

9. 環境上の緊急事態への準備及び対応

環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的な訓練を実施する



<リスク管理の観点で>



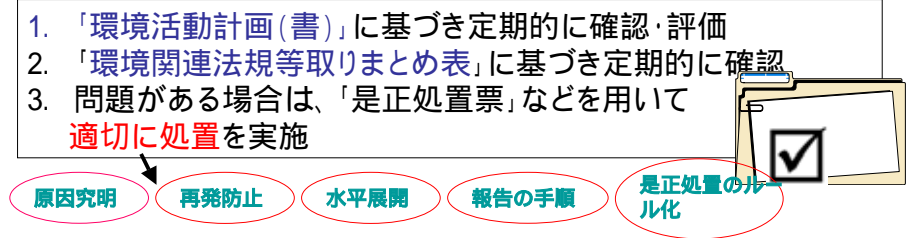
いろいろなリスクを想定し 必要な取組を行う



環境リスクの回避は経営者の重要な責任

10. 取組状況の確認及び問題の是正

1. 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を、定期的に確認・評価する。
2. 環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認する。
3. 環境目標の達成及び環境活動計画の実施状況に問題がある場合は、是正処置を行い、必要に応じて予防処置を実施する。



11. 環境関連文書及び記録の作成・整理

1. エコアクション21 の取組を実施するのに必要な文書を作成し、整理する。
2. エコアクション21 の取組に必要な記録を整理する。

<文書> 7つ

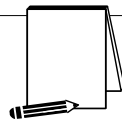
環境方針
環境関連法規の取りまとめ
環境目標
環境活動計画
実施体制(組織図に役割等を記したもので可)
緊急事態の想定結果及びその対応策
環境活動レポート

(マニュアルは100名かつ複数サイトの場合に推奨事項)



<記録> 8つ

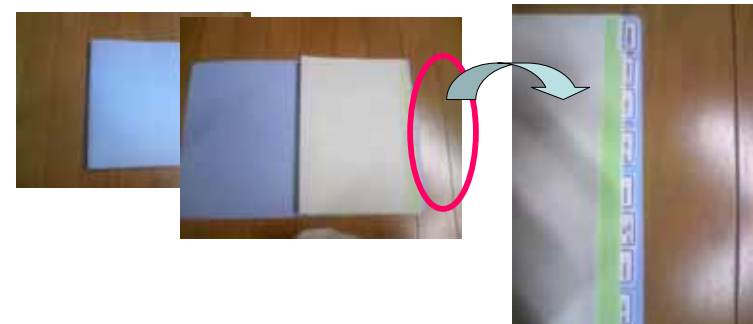
「環境への負荷の自己チェック」の結果
「環境への取組の自己チェック」の結果
外部からの苦情等の受付結果
環境上の緊急事態の訓練結果
環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果
環境関連法規等の遵守状況のチェック結果
問題点の是正処置及び予防処置の結果
代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果



>



EA21文書をファイルに綴じると...



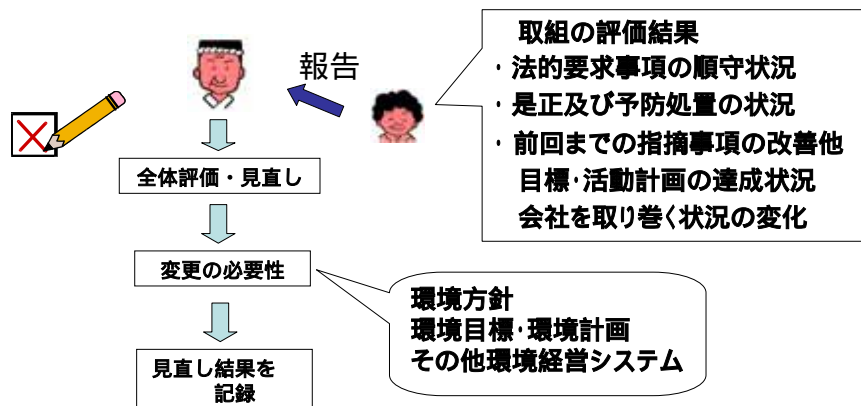
エコアクション21の書類は、いくら多くても厚さ1cmぐらいで、紙ファイルに十分綴じることができます。

整理方法はガイドラインの1.環境方針の作成～1.2.代表者による全体の評価と見直しの順に綴じてインデックスを付けます。最後に環境活動レポートを綴じれば準備完了です。

書類審査用としては、これでOKです。

12. 代表者による全体の評価と見直し

代表者(経営者)は、エコアクション21 全体の取組状況を評価し、全般的な見直しを実施し、必要な指示を行う。



環境活動レポートの作成と公表

1. 環境活動レポートのとりまとめ

次の事項を盛り込み取りまとめる。

- 環境方針
- 環境目標とその実績
- 主要な環境活動計画の内容
- 環境活動の取組結果の評価
- 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

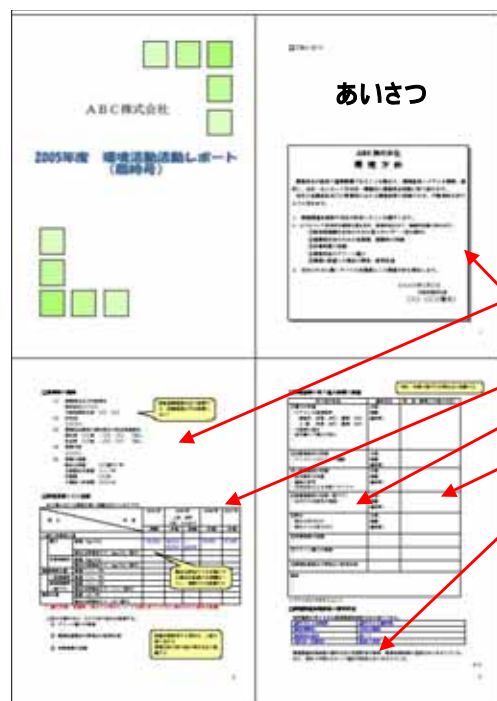
首尾一貫して
整合させる

組織の概要に関する以下の情報も必ず記載すること。

- ・事業所名及び代表者氏名
- ・所在地
- ・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- ・事業活動の内容についての簡単な記述
- ・事業の規模(主要製品の生産量・出荷額、従業員数、延べ床面積)

2. 環境活動レポートの公表

事業所に備え付け、一般の閲覧を可能にして公表する。
中央事務局に送付し、**中央事務局が公表する。**



環境活動レポート ～一例～

- 事業所の概要
- 環境方針
- 環境目標とその実績
- 主要な環境活動計画の内容
- 環境活動の取組結果の評価
- 環境関連法規制と順守状況

審査人が審査した
CSRレポート!

エコアクション21地域事務局大阪

〒552-0021大阪府港区築港2-8-24

電話 06-6575-1521

FAX 06-6599-0607

Email: info@ea21-osaka.org URL http://www.ea21-osaka.org

財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター

エコアクション21中央事務局

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル8F

電話 03-3509-7903

FAX 03-3595-1084

Email: CFS@ea21.jp URL http://www.ea21.jp